56

AICHI UNIVERSITY Library Supporter

The toppo journal

愛知大学 AICHI UNIVERSITY

from November 7 to November 9 , 2017 Vol.1

トッポが「魅力展示で行きたくなる図書館づくり」に乗り出しました！

選書ツアー

選書ツアーとは、私たち学生が実際に書店に行って、自分自身が図書館に置いてほしいと思った本を選ぶ企画です。

ツアーの流れはこうです。最寄りの大きな本屋さんに参加する学生が集合し、そこで各々が本を選びます。本を選び終わると、図書館員さんのもとへ持っていき、蔵書するにふさわしいか、既に蔵書されていないかどうかなどを審査してもらいます。無事に審査を通った本がしばらくしてから図書館に蔵書されます。

学生の目線から学術書、文学作品などの本を選ぶことができ、学生にとっては自分の興味のある本を図書館に入れられる、図書館にとっては学生の読みたい本を知ることができるというメリットがあります。あくまでも大学図書館に蔵書するものなので、雑誌や漫画、写真集などの学業に関係していないものは選ぶことができませんが、それでも毎年多くの本が図書館に配架され、学生に読まれています。

選書ツアーで購入された本は、学生の目線で読みたい本を選んでいるので、借りてくれる人がとても多いです。ただ、小説系の本を選ぶことが多いため、本の傾向が偏りがちになります。なので、もっとたくさんの人に参加してもらって、いろいろなジャンルの本を選書していきたいです。また、どんな本を選んでいいのかが曖昧なので、しっかりとルールを作りたいと思いました。たくさんの人に参加してもらえるように、告知を目立たせる工夫をしたいです。

落ち込んでいるときに読むのはどちらの本？

どっぷりつかれる本 vs 元気がでる本

あなたは気分が落ち込んだときに何をしますか？★カラオケ？★寝る？★やけ食い？★トッポでは読書をオススメします！

これをテーマにして作られた展示は題して、「落ち込んでいるときに読むのはどちらの本？どっぷりつかれる本vs元気がでる本」！トッポ内で、落ち込んだときに読むのは、明るい気分になれる「元気がでる本」派と、落ち込んだ気分に「どっぷりつかる本」派との２つの派閥に分かれて選書をしました。

愛知大学のみなさんはどっち派なのか、２つを戦わせることによって、借りてくれるみなさんも、トッポも楽しめるような企画に仕上げました。結果は…ほぼ5分5分！！あなたはどちらの本派ですか？

改善点

どちらの派かのアンケートなどの利用者参加型の展示を作って、もっと楽しめる企画にすればよかったと思いました。

The 鴎外 with 愉快な仲間たち

トッポでは、森鴎外を中心に、森鴎外と関係深い作家の作品を展示しました。人物名や作品名は広く知られている森鴎外ですが、実際に作品を手に取ったことのある人は少ないのではないかと思います。そこで、少しでも興味を持ってもらうために、ただ本を展示するだけでなく、森鴎外の子孫について調べて相関図にまとめたり、森鴎外の好物である饅頭茶漬けのレシピをまとめたりしました。本のPOPについても、本の内容をしっかりとPRできるように文章を考え、イラストなどで明るい雰囲気にまとめました。そのような工夫のかいもあり、いつもよりも素敵な展示を行うことができました。

鴎外展示をして良かった点は、饅頭茶漬けという目を引くサブ企画展示を設置して、たくさんの人に見てもらうことができたことです。対して、改善が必要だと感じた点は、森鴎外の子孫である、人気作家で読みやすい星新一さんの本しか借りられなかったことです。他に、実際に本を読ますにPOPを作った為に、魅力をアピールしきれなかったこと、さらに本の配置や飾り付けに力を入れられなかったことがあげられました。

部活動紹介

愛知大学の部活やサークルって何があるのか意外と知られていない！？そこで、春に入学する一年生に向けて部活動紹介展示を行いました。チラシを作り、「紹介してもいいよ」、というサークルを募集したところ、今年は国際協力団体SEEDというフェアトレードの活動を中心としているサークルと、新聞部が情報と写真を提供してくれました。それを私たちがコルクボードにまとめ、図書館にあるフェアトレードと新聞に関する本と一緒に展示しました。

さらに、トッポの活動紹介も一緒に展示しました。展示場所も、ディスカッションルームというゼミやグループワークの時に使用する会話OKな部屋の前に設置したので、本を借りない人にも見てもらえたと思います。この場所は目立つので、展示に目を留める人も多かったと思います。今後もこのような展示を行っていきたいです。

今までは、紹介の文章などは部活動の方で考えていただいていたので、協力してくださる部活動も限られていました。そこで、もっと多くの部活動にも協力していただけるように、まずトッポで質問事項を考え、それに答えていただき、まとめる形にした方が良いと思いました。また、新入生に部活がどんなものかあるか知ってもらおうと行った企画ですが、有名な部活以外そもそも知らない人が多いようなので、次に行うときは部活動の一覧表の許可を得て、一緒に展示したほうが良いと思いました。

この展示をしたことによって、トッポは新入生の動誘に成功することができました。しかし、展示自体があまり目立っておらず、トッポの活動の関連本のアピールも足りていなかったことが改善点だと思いました。

岩波ブックレット

岩波ブックレットは、愛知大学ではあまり読まれておらず、学生に知られていない印象があるシリーズです。しかしその中には、最近あったニュースや、著名な方が書かれているもの、題名だけでも興味が湧くようなものが多くあります。さらに、岩波ブックレットは、空いた時間に手軽に読めるシリーズです。トッポでは、そんな岩波ブックレットの良さを一般学生にも知ってもらいたいと思い、POP を作成し、展示することにしました。

この展示で岩波ブックレットの存在を知ってもらえたのは良いのですが、借りられている本と借りられていない本で差があり、その原因として、POP にただ題名を書いてあるだけのもの、内容が詳しく書かれているものなどの、クオリティーの差があげられました。なので、POP については、トッポ内で書き方講習会や最低限の決まりを作ろうと思いました。

新入生向け展示

新入生展示は、毎年４月から５月に行っている人気企画です。その名の通り、新入生に向けて、「大学生活の過ごし方」「レポートの書き方」といった本や、各学部の入門書を展示しています。大学生活で役に立つ本を揃えているためか、多くの学生が本を手に取ってくださいます。この展示の本を読めば、大学生活が充実すること間違いなし！ 新入生向けとはなっていますが、２年生でも３年生でも、何年生になっても役に立つ、愛大生の心強い味方です！

☆改善点

来年の展示をする際には、本を学部の分野ごとにまとめることや、大学生活の過ごし方、レポートの書き方など、項目ごとに展示するなど、パワーアップさせていきたいと思います。

ラッピング図書

ラッピング図書とは、クリスマスプレゼントをイメージして本をラッピングし、タイトルを伏せて展示をする企画です！各本に番号を振り、その本のジャンルやヒントを書いたボードをもとに、本を選んでもらいます。ジャンルとしては、古典や評論、ミステリー、ホラー、文学、SFなど幅広く選書しています。ラッピングをしたまま貸出処理をするので、ラッピングを破るまで、何の本か分かりません。そのドキドキ感のためか、毎回楽しんでもらえているようで、トッポの大人気企画の一つになっています。

この展示は、作るほうも借りるほうも楽しむことができる、トッポ自慢の展示です！この展示をきっかけより良いものにするために、３つの改善点を考えました。

１つ目は、本に挟むメッセージカードをより凝ったものにすることです。2つ目は、ヒントをもっとわかりやすくし、利用者が自分の読みたい本に出会えるようにすることです。3つ目は、展示の周りの装飾をもっとこだわり、雰囲気をだすことです。

今年は、これらの改善点を踏まえて、さらに素敵なラッピング図書を行いたいと思います！

wrapping

稲関連展示

みなさん、お米は好きですか？

トッポでは秋学期の最初の展示として、新米が出始める時期に合わせて、お米に関する展示を行いました！ この展示では、米の歴史・文化、お米についての雑学、中国とお米、日本とお米の４つにお米関連の本を分けて展示しました。また、コシヒカリなどの有名なお米を４種類選び、その特徴や違い、どんな料理に合うかなどを調べ、一緒に展示しました。

ほぼ毎日のようにロにするお米ですが、本を読んでみると案外知らないことが多く、お米の奥深さを感じました。

このテーマに興味のある方が多かったようで、展示を始めてすぐに借りてもらうことができました。しかし、テーマが「稲」と曖昧だったため、展示した本がお米の雑学を書いた本から農業のシステムに関する本まで、幅広い本を展示することになってしまっていました。そのため、どういう本なのかをより明確化して展示を行うようにしていきたいと思います。

オリンピック展示

昨年のオリンピック開催に合わせて、スポーツに関する本の展示を行いました。

この展示では、「オリンピック競技に入れてもらいたいスポーツは？」「日本はオリンピックでいくつメダルを取れると思うか？」といったアンケートを一緒に展示し、利用者の方にシールを貼って答えていただきました。このような利用者参加型の展示を行うことは、これまではあまりありませんでしたが、オリンピック展示では多くの方がアンケートに参加してくださいました。足を止めて見てくださる方も多く、利用者の方に大変楽しんでいただけた企画だと思います。

Good この展示の良かった点は、多くの人にアンケートに参加してもらえたことです。また、展示に足を止めて見てくださる人も多く、実際に本を手に取ってもらうこともできました。この企画は、たくさんの人に楽しんでいただけたので、ただ本の展示を行うのではなく、利用者の方に楽しんでいただける展示をすることが大切なのだと改めて実感しました。

Reflection この展示の反省点は、アンケートを取った後の結果公表をあまり工夫しなかったことです。アンケートにはたくさん参加してもらえたのですが、その結果は順位づけして貼り出すのみでした。そのため、次にのような展示を行う際は、結果の公表まできちんと利用者の方に楽しんでいただけるような工夫を行いたいと思います。

トッポ全体の反省点

展示の更新ペースを一ヶ月毎ではなく、二ヶ月毎にし、POP だけでなく、飾り付けなどの雰囲気づくりなどをして、もっと凝った展示にしていきたいと思いました。また、トッポと図書館へのご意見ボックスを設置しているのですが、今は白紙の紙に書いてもらっているので、それをアンケート形式にして、可能であれば授業の前の時間などを使って、多くの学生にアンケートを実施できたらと思っています。